



あひるぐみだより

尚徳福祉会 保土ヶ谷保育園 平成 30 年3月



寒暖の差はありますが小春日和の公園では桜の木も芽吹き、少しずつ春の訪れを感じられるようになりました。あひる組での生活も残り1か月となりました。進級への期待を膨らませながら、あひる組としての最後の月を楽しんでいきたいと思ひます。



☆鬼は外！福はうち！☆

2月2日は角や目を制作した鬼の帽子を被り、新聞紙を丸めた豆を片手に、はりきって豆まきにのぞみましました。本物の鬼？を目の前にして涙を流す子、見つめて固まる子、鬼から遠い距離で様子を見る子とさまざまな反応でした。年に一度のドキドキ体験で心と体が強くなることを願っています。



☆屋上あそび☆

足腰がしっかりして階段を上手に登れるようになり、いよいよ憧れの屋上あそびにデビューしました。足こぎ三輪車やチョークのお絵描き、しっぽとりゲームなども楽しめたらと思います。

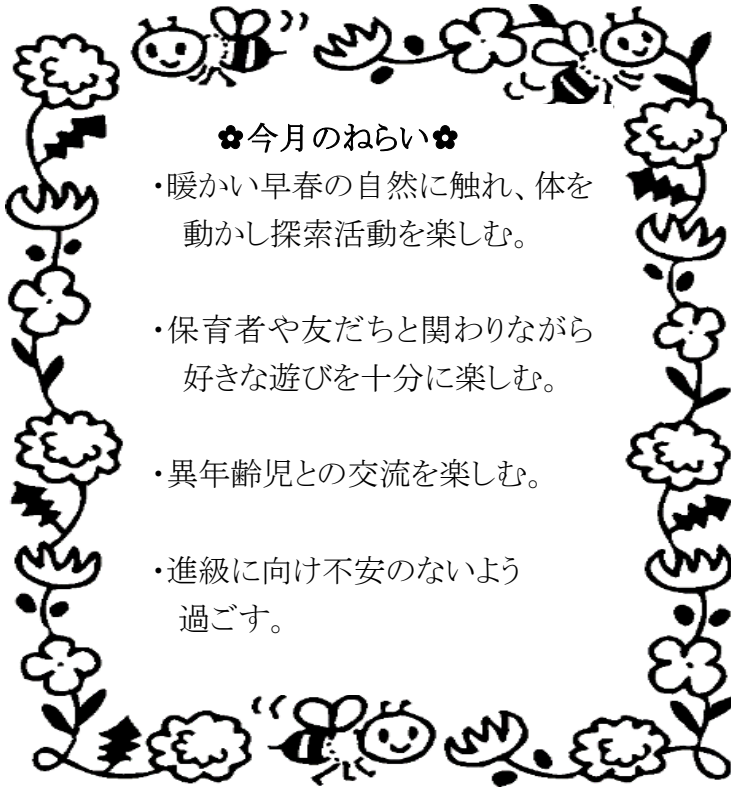


☆一年を振り返り☆

自分でできることが増え、身支度を援助しようとする「じぶんで！」と手を振り払われることもしばしばです。日常生活の中で褒められ認められることで自信がつき、さまざまな意欲へと繋がっています。

友だちとイメージを共有しながら小集団でごっこ遊びをする姿が多く見られ、おしゃべりに花が咲き友達関係の深まりを感じます。散歩では遠距離にもかかわらず疲れを見せずに往復するほど体力がつき、寒い季節も体調を大きく崩すことなく元気に過ごしています。この一年で心身共に成長した頼もしい子どもたちを今後も見守り続けていきたいと思ひます。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきまして本当にありがとうございました。

あひる組 担任一同



☆今月のねらい☆

- ・暖かい早春の自然に触れ、体を動かし探索活動を楽しむ。
- ・保育者や友だちと関わりながら好きな遊びを十分に楽しむ。
- ・異年齢児との交流を楽しむ。
- ・進級に向け不安のないよう過ごす。

☆ お気に入りの一冊 ☆

保育者が絵本を広げると自然と集まり、この一年間でさまざまなお話を読み聞かせてきました。子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します。

「ゆびくん」 作・絵 五味太郎 岩崎書店

自分の指が、子どもの生活のなかでいろいろな動きをしたり共感するようおしゃべりをしたりして、一番身近で親しい友だちのように描かれています。子どもたちにわかりやすい、温かいフレーズで読み聞かせるたびに、繰り返し真似をして言葉の発達にも繋がったように思ひます。ゆびくんが外遊びで薔薇の棘にひっかかり怪我をしたときは、毎回ビクツとしたり、眉をひそめて同情する子どもたちの表情がとても印象的で可愛かったです。

